



DVD-V/CD・WMA/MP3対応  
HDD ナビゲーションオートサーバー

# AVIC-H900

はじめに

準備

ナビゲーション

DVD/CD・  
WMA/MP3

ミュージック  
サーバー

付録

入門編  
スタートブック

carrozzeria

# 安全のために必ずお守りください

## 絵表示について

取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



**警告**

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



**注意**

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

# 安全上のご注意（別冊の「安全上のご注意」もお読みください）

## 警告

### 〔使用方法〕

#### 運転中に操作をしない



禁止

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

#### 走行中にテレビやビデオを見ない



禁止

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり交通事故の原因となります。

### 〔異常時の処置〕

#### 故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

#### 異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

#### ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。



## ナビゲーションブック

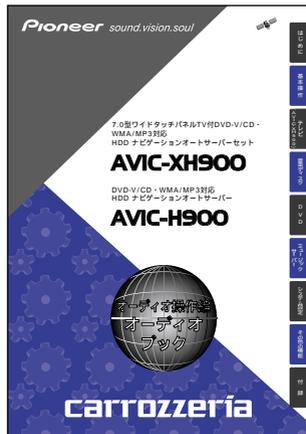
ナビゲーションの機能を活用したいときにお読みください。ナビゲーションの全機能の使いかたを知ることができます。ナビゲーションの操作辞典としてご利用ください。

## オーディオブック

オーディオ( CD、WMA/MP3ディスク、ミュージックサーバー )やDVDを活用したいときにお読みください。オーディオやDVDの全機能の使いかたを知ることができます。オーディオやDVDの操作辞典としてご利用ください。

## リビングキット 取扱説明書

リビングキットの機能を活用したいときにお読みください。



## リビングキット 取扱説明書

本書は、本製品のインストールには、必ずお読みください。

**リビングキットとは**  
 リビングキットは、ナビゲーション本体のプレインストール(ハードディスク内)を取り出し、これをインストールしてナビゲーションの一部の機能をソフトウェアインストールによる機能を有効にします。リビングキットは標準のメモリで動作します。

**インストールの準備**  
 リビングキットは、ナビゲーション本体のプレインストール(ハードディスク内)を取り出し、これをインストールしてナビゲーションの一部の機能を有効にします。インストールには、ナビゲーション本体のメモリが必要です。インストールには、ナビゲーション本体のメモリが必要です。インストールには、ナビゲーション本体のメモリが必要です。

**インストールの手順**  
 プレインストール用のナビゲーションをインストールして、ナビゲーションの電源を入れてください。電源が入った状態でナビゲーションを開き、ナビゲーションの一部の機能を有効にします。インストールには、ナビゲーション本体のメモリが必要です。インストールには、ナビゲーション本体のメモリが必要です。

©2008 Pioneer Electronics (Japan) Incorporated. All rights reserved.  
 Pioneer is a registered trademark of Pioneer Electronics (Japan) Incorporated.  
 Carrozzeria is a registered trademark of Carrozzeria Electronics Co., Ltd.  
 SOYINK is a registered trademark of SOYINK Co., Ltd.  
 Pioneer Electronics (Japan) Incorporated. 2008.01.01  
 Pioneer Electronics (Japan) Incorporated. 2008.01.01  
 Pioneer Electronics (Japan) Incorporated. 2008.01.01

# 本書の見かた

## 本書の表記のしかた

表記	意味
	<p>注意マーク</p> <p>操作を行う状況においての注意していただきたいことや、本製品の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて説明しています。</p>
	<p>メモマーク</p> <p>操作する上で注意すべきことやヒント、便利な使いかたなどについて説明します。</p>
	<p>タッチキーを表します。</p> <p>例： <b>確認</b> にタッチする</p>
	<p>リモコンや本体についているボタンを、ボタン名称をもとに表します。</p> <p>例：  を押す</p>
斜体	<p>参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書を導きます。</p> <p>例： 「3Dハイブリッドセンサーについて」(P13)</p>
つづく→	<p>続きマーク</p> <p>右ページにおいて、操作手順が次ページに続く場合を表します。</p>

### メモ

- 本書で使っている画面例は、実際の画面と異なることがあります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本書に記載している製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。

# How to Read

## 目次

	安全のために必ずお守りください .....	2
	安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください) .....	3
	説明書のご利用方法 .....	4
	本書の見かた .....	6
はじめに	特長 .....	10
	ご使用前に知っておいていただきたいこと .....	13
準備	お使いになる前に .....	17
	各部の名称とおもな働き .....	17
	リモコンの使いかた .....	21
	リモコンの操作モードについて .....	22
	準備をしましょう .....	29
	リモコンに電池をセットする .....	29
	リモコンをテレビに合わせて設定する .....	30
	ブレイクユニットの入れかた・取り出しかた .....	31
	電源について .....	35
	3Dハイブリッドセンサーについて .....	36
ナビゲーション	ここから操作します .....	37
	基本的な操作のしかた .....	37
	いろいろな画面の操作のしかた .....	40
	ショートカットメニューを表示させる .....	42
	地図の見かたや操作を覚えよう .....	43
	現在地を表示させる .....	43
	地図の動かしかた .....	44
	地図の縮小、拡大 .....	46
	地図の表示方法を変える .....	48

## Contents

## ナビゲーション

自宅を登録しておこう .....	49
自宅にいるときは .....	49
行き先を決めてルートを案内させてみよう .....	51
スタートからゴールまでの流れ .....	51
行き先を設定してルートを案内させる .....	52
自宅に帰るルートを設定して案内させる .....	54

## DVD/CD・WMA/MP3

ディスクの入れかた・取り出しかた .....	57
ディスクの入れかた .....	57
ディスクの取り出しかた .....	57
オーディオ・DVDなどの切り替えかた .....	58
画面の切り替えかた .....	59
曲の切り替えかた .....	60
オーディオ・DVDなどのOFFのしかた .....	60

## ミュージックサーバ

ミュージックサーバとは .....	61
-------------------	----

## 付録

リビングキットについて .....	62
リビングキットとは .....	62
メモリー/通信カードの入れかた・取り出しかた .....	63
メモリーカード/通信カードの入れかた .....	63
メモリーカード/通信カードの取り出しかた .....	64
リセットについて .....	66
ディスクの正しい使いかた .....	67
ブレイクユニットの正しい使いかた .....	69

## Contents

故障かな?と思ったら .....	71
共通項目 .....	71
ナビゲーション .....	73
DVD .....	74
CD、WMA/MP3 .....	74
ミュージックサーバー .....	74
3Dハイブリッドセンサーのエラーメッセージ .....	75
お客様登録とアフターサービス .....	77
仕様 .....	80

# 特長

## ハードウェア

### 内蔵ハードディスク

30GBの大容量ハードディスクを搭載したことで、各種新機能の実現や、ミュージックサーバーへのCDの録音も約200枚(約2,000曲)の録音が可能になりました。

### ブレインユニット

車の中だけでなく、家の中でも使えるフレキシブル性を有しています。それを実現させたのが、「ブレインユニット」。小型のユニットにナビゲーションの心臓部であるカーコンピューターとハードディスク、CF型カード挿入口を凝縮。ナビゲーション本体から外し、付属のリビングキットを使用して部屋でナビゲーション機能やミュージックサーバーなどを楽しむことができます。

## IQ精度

### 10Hz測位

1秒間に10回という高速マップマッチング(10Hz測位)を実現しました。高精度になったGPS測位技術とIQ高精度の要であり3Dハイブリッドセンサーで実現するハイブリッド測位に、この高速マップマッチング技術を加えることで、極めて正確に道路上の位置を描画更新することができます。

- 1 40km/h走行時では、約1mごと、100km/hの高速走行でも約2.7mごとにマップマッチングを行います。また、表示遅れによる誤差が100km/h走行時でも3m以下となります。

## 地図表示

### ソリッドシティマップ( P48 )

全国の主要都市を対象に、限りなく現実に近い都市空間を表現した三次元立体地図「ソリッドシティマップ」を採用しました。

## 渋滞

### 渋滞予測機能 『ナビゲーションブック』

蓄積された渋滞情報を季節・曜日・大型連休・時刻などを基準に統計処理し作成した渋滞予測データを使い、考慮した様々な機能を実現しました。

渋滞予測情報はインクリメントP株式会社が提供し、VICS情報にリンク旅行時間情報が提供されている路線について提供されます。

## 検索／ルート探索

### ドライブプランナー 『ナビゲーションブック』

渋滞予測機能を活用し、出かける日時の渋滞までも考慮した最適なプランを作成します。

### 渋滞予測ルート探索 『ナビゲーションブック』

HDDに格納された渋滞予測データとドライブ時の到達時刻を考慮し、所要時間なるべく少なくなるようなルート探索をします。

予測データだけでなく現況も加味する事ができるため、より精度の高い予測結果が得られます。

### 料金考慮ルート探索 『ナビゲーションブック』

有料道路の通行料金をユーザーがあらかじめ設定した金額以内になるようなルート探索ができます。

## 通信・コンテンツ

### 各種通信接続機器に対応 『ナビゲーションブック』

CF型通信カード、携帯電話（FOMA含む）、ブロードバンド接続など各種通信接続に対応しました。

「FOMA/フォーマ」はNTTドコモの登録商標です。

### ライブマガジン 『ナビゲーションブック』

最新のおすすめスポットなど専用サーバーに用意したコンテンツプロバイダーが提供するデータを用いて情報の検索ができます。

## ミュージックサーバー&AV機能

### CD4倍速同時録再 『オーディオブック』

高性能DSPの搭載により、CDの4倍速録音を実現。さらに、録音中の楽曲やすでに録音された楽曲を同時に再生可能です。

標準的な音楽CD1枚を約15分で録音、しかもCD約200枚分(約2,000曲)の録音ができます。

### フィーリングプレイ 『オーディオブック』

録音時に抽出した特徴から、お客様のフィーリング(明るい、ノリがいい、静かな、かなしい、癒される)にマッチするような曲を自動的に選曲し、再生するミュージックサーバーの機能の一つです。最後まで聴いた曲を学習して、よりお客様好みの選曲をするよう成長します。

### ダイジェストスキャン 『オーディオブック』

CD録音中に、自動で検出された各楽曲の特徴的になりそうなフレーズの位置を参照し、各楽曲のその部分を約15秒間ずつ再生します。

### AVファウンデーション 『オーディオブック』

別売の5.1ch対応・DSPユニットなどとの組み合わせにより、迫力に満ちた音と映像の世界を描き出し、単なるAVの枠を超えたかつてない総合カーエンターテインメントを実現する感覚総合空間「AVファウンデーション」を車室内に築き上げます。

## ホームユース

### リビングキット ( P62 )

ブレイクユニットとリビングキットを利用して、家の中でもナビゲーションの基本機能の操作や、ミュージックサーバーの曲を聴くことができます。

自宅で好きな音楽を聴きながら週末の天気・イベント情報などを通信で取得できる他、旅の窓口で宿泊予約も可能になり、ドライブプランを立てることができます。

# ご使用前に知っておいていただきたいこと

## お使いになる地図データについて

本機のご使用にあたっては、地図ディスクは必要ありません。地図データは全て本機内蔵のハードディスクに保存されています。

DVD-ROMディスク(「DVDナビゲーションマップシリーズ」など)、CD-ROMディスク(「スーパーエリアマップシリーズ」や「ロードナビゲーターシリーズ」など)は使用できません。

## 現在地の表示について

初めて本機を使うときは、現在地とは異なる地図が表示されたり、地図上に表示されている現在地と実際の自転車位置が大きくずれることがあります。故障ではありません。しばらくすると正しい現在地が表示されます。また、本機は自転車位置と現在地の誤差を補正する機能を備えているため、走行を重ねるにつれて精度が高くなり、誤差が少なくなります。

## 3Dハイブリッドセンサーについて

初めて本機をご使用になる場合、電源を入れると自動的に3Dハイブリッドセンサーの初期学習を開始します。3Dハイブリッドセンサーの初期学習が終了するまでは、GPS衛星のみの測位となるため、自転車位置が更新されない、自転車位置や方向が正しくない(道路にいないなど)案内が出たり出なかったりする場合があります。故障ではありません。初期学習が終了すると、高精度で自転車位置を測位することが可能になります。

## 安全走行のために

走行中に運転者がナビゲーション操作をし画面に気を取られたり、操作に迷ったりすると思わぬ重大な事故を招く恐れがあり大変危険です。交通の状況、歩行者などに十分注意しながら運転してください。また、運転者がナビゲーションの操作を行う場合は、必ず車を安全な場所に停車してから行ってください。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

本製品には交通規制データが収録されておりますが、交通規制の変更等により、実際とは異なる場合があります。ナビゲーションによるルート案内や右左折などの音声案内時でも、必ず実際の標識や交通規制に従って走行してください。交通事故の原因や道路交通法違反となることがあります。

緊急を要する施設(病院、消防署、警察など)の検索やルート案内については、本製品への依存を避け各該当施設へ直接ご確認ください。

本機では、パーキングブレーキのON/OFFを検知しており、走行中はナビゲーションやオーディオの一部のメニュー操作や地図の連続スクロールはできません。

安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。道幅5.5m以上の道路を走行中は、細街路(5.5m未満の道路)を表示しません。

## 昼間と夜間の色の違いについて

夜間、周囲が暗くなってくると、画面が明るすぎて表示されている映像が見えにくくなることがあります。そこで、本機では昼画面と夜画面とで画面の配色を変えて、それぞれ見やすい画面を表示します。

例えば日没の時刻になると自動的に夜画面に変わるように設定できます。昼画面と夜画面の切り替えを車のヘッドライトのON/OFFと連動させたり、つねに昼画面を表示させておくこともできます。

昼画面



夜画面



本書では、昼画面を例に説明しています。このため、夜画面が表示されている場合、本書の説明と画面の色が異なる場合があります。

## バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

### メモ

- 大気環境のため、必要以上の停車中のアイドリングは避けましょう。

## 低温時のハードディスクへの書き込みについて

低温時は、ハードディスクへの書き込み動作を伴う地点の登録（登録地）登録道の新規登録、ミュージックサーバーへの録音などができない場合があります。車内温度が上昇するまで、しばらくお待ちください。

## 著作権

本製品に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析等することはできません。

## ブレインユニットについて

ブレインユニットはご購入いただきました製品本体以外では使用しないでください。正しく動作しなかったり起動しない場合があります。

## お客様の登録されたデータについて

本機のバージョンアップおよび修理において、お客様の登録されたデータの保証についてはご容赦願います。

市販のCF型メモリーカードを利用すると、登録地点データを保管することができます。また、画像データを扱うことができます。

ミュージックサーバーに録音された音楽情報については著作権法上バックアップをおこなうことはできませんのでご了承ください。

## バージョンアップについて

本機のバージョンアップは、ブレイクユニットをお預かりして有償にてデータの書換えをさせていただく方式と、ブレイクユニットをリビングキットに装着しブロードバンド接続することにより有償にてデータを書き換える方法の2通りを予定しております。また、書き換える際には、お客様がご自身で本機に登録された情報内容については、配送中の衝撃などにより消去される可能性があるため情報内容の保証は致しかねます。予めご了承ください。登録地データに関してはCF型メモリーカードをご利用いただくことにより、保管していただくことができます。本機のバージョンアップの詳細については、弊社ホームページにてご案内させていただき予定です。また、本機ご購入後に登録手続きをしていただいたお客様に対してもご案内させていただき予定です。本機に同梱されている「保証書発行兼お客様登録カード」のご返送またはインターネットからのご登録をお願い致します。

ハードディスク（ブレイクユニット）のお預かりによる書き換え作業は7日間程度を予定しておりますが、一時的に書き換え数量が集中した場合などは、7日間を超える場合があります。ハードディスク（ブレイクユニット）のお預かりによる書き換え作業中は、ナビゲーションおよび一部のオーディオ機器が使用できません。詳しくは34ページをご参照ください。

## WMAについて



外装箱に印刷された、Windows Media™のロゴは、本機がWMAデータの再生に対応していることを示しています。

WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

### メモ

- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

詳しくは、『オーディオブック』を参照してください。

## MP3について

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送で、本機を使うライセンスを提供したりいかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ<http://www.mp3licensing.com>をご覧ください。

営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

詳しくは、『オーディオブック』を参照してください。

## ドルビーデジタル/DTSについて

当社の5.1ch対応・DSPユニット（例：DEQ-P9）と組み合わせると、5.1チャンネルで収録された映画/音楽のDVDを臨場感豊かに再現することができます。



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

「DTS」は、Digital Theater System Inc.の登録商標です。

## 保証登録・アフターサービス

弊社からの本製品に関連する重要な連絡は「保証書発行兼お客様登録カード」をご返送またはインターネットからご登録いただいたお客様にいたしますので、必ず登録をしていただきますようお願いいたします。

本製品のアフターサービスは、お買い上げ販売店を窓口として実施しておりますが、移動先や引っ越し等により、お買い上げ販売店に修理が依頼できない場合には、お近くの弊社サービスステーションへご相談ください。

## その他

弊社は、本製品に収録された地図データ等が完全・正確であること、及び本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。

本製品の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。その場合における変更前の本製品の改造、またはお取り替えのご要望には応じかねます。お客様が録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

本機は、電気通信事業法に基づく設計認証を取得しています。

認証番号：A04-0217001

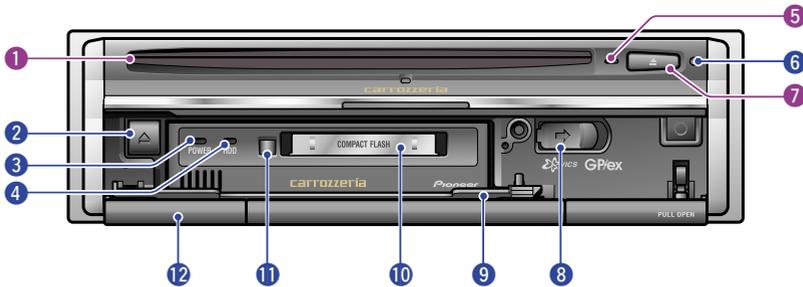
本機は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

# お使いになる前に

## 各部の名称とおもな働き

車で操作するナビゲーション本体、リモコン、音声認識コントローラー / 音声認識用マイクの各部の名称と働きを説明します。

### ナビゲーション本体



準備

各部の名称とおもな働き

#### 本体操作および共通操作

- ② プレインユニット取り出しボタン  
プレインユニットを取り出すときに使用します。
- ③ プレインユニットPOWERランプ  
プレインユニットの取り出しが可能が知らせます。
- ④ ハードディスクアクセスランプ  
ハードディスクの読み込み、または書き込みをしているときに点灯します。
- ⑥ リセットボタン  
マイコンをリセットします。
- ⑧ スライドレバー  
プレインユニットのカバーを開きます。
- ⑨ プレインユニットカバー  
プレインユニットを挿入・取り出す際に開きます。

#### ご注意

- 挿入・取り出し時以外は、必ずプレインユニットカバーを閉じてください。

- ⑩ CF型カード挿入口  
カードを挿入します。
- ⑪ CF型カード取り出しボタン  
カードを取り出すときに使用します。

#### ご注意

- CF型カード内のデータを読み込んでいる間は、絶対に本機の電源をOFF(エンジンをOFF)にしたり、CF型カードを抜かないでください。

- ⑫ フロントドア

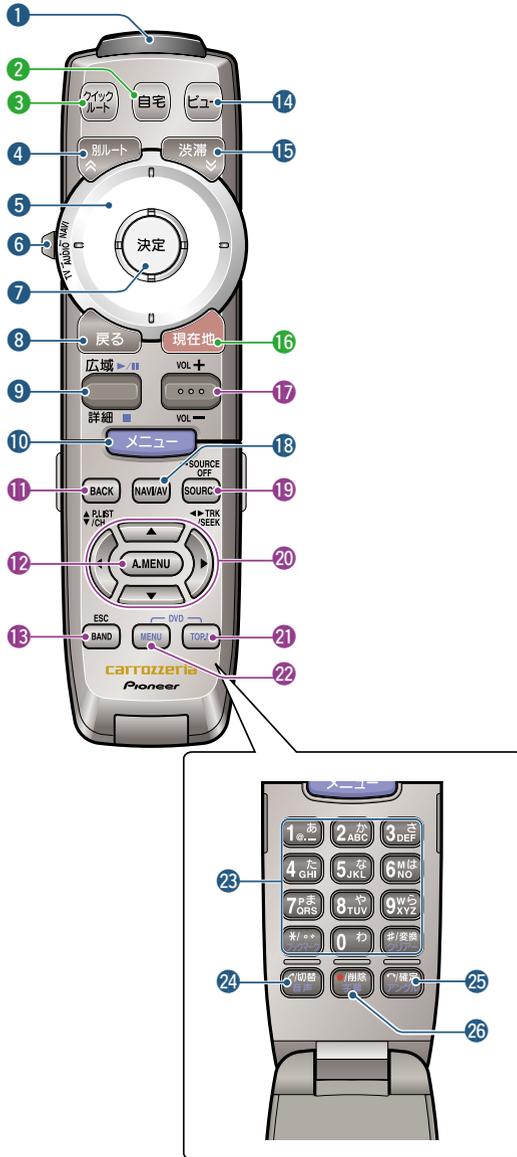
#### オーディオ操作

- ① ディスク挿入口  
DVDやCDなどを挿入します。
- ⑤ ディスクランプ  
ディスクが挿入されているときに点灯します。
- ⑦ ディスク取り出しボタン  
DVDやCDなどを取り出すときに使用します。

# リモコン

準備

各部の名称とおもな働き



## 本体操作および共通操作

- ① リモコン送信部  
ここからリモコンの信号が送られます。
- ④ 別ルートボタン  
すでに設定されているルートとは別のルートを探索させるときに使用します。  
リスト画面では、リストをページ送りします。
- ⑤ ユニバーサルパッド  
地図の移動や項目の選択などに使用します。
- ⑥ 操作モード切り替えスイッチ  
リモコンで操作するモードを切り替えます。
- ⑦ 決定ボタン  
項目の決定などに使用します。  
地図画面ではショートカットメニューを表示します。
- ⑧ 戻るボタン  
一つ前の画面に戻るときに使用します。
- ⑨ スケールレバー  
ナビゲーション操作時は、地図のスケールを変えるときに使用します。  
DVD表示中は再生や一時停止、再生停止に使用します。
- ⑩ メニューボタン  
ナビゲーション操作時は、メニューを表示します。  
オーディオ操作時は、表示中のソースの各AVメニューを表示します。
- ⑭ ビューボタン  
ナビゲーション操作時は、地図表示のビュー切り替えメニューを表示します。長く押すと地図設定メニューを表示します。サイドマップ付きのリスト画面表示時は、地図と詳細情報の表示を切り替えます。  
オーディオ操作時は、ソースプレートやリストの表示/非表示を切り替えます。
- ⑮ 渋滞ボタン  
渋滞情報などの交通情報を見たいときに使用します。  
リスト画面では、リストをページ送りします。
- ⑰ NAVI/AVボタン  
ナビゲーション画面とソース画面を切り替えます。
- ⑳ 10キー  
ナビゲーションの電話番号検索、携帯電話操作、文字入力などに使用します。

- ㉔ オフフック/切替ボタン  
電話をかけるときや受けるとき、文字種の切り替えに使用します。  
DVD操作時は、音声言語を切り替えることができます。
- ㉕ オンフック/確定ボタン  
電話を切るときや応答保留するとき、入力した文字の確定に使用します。  
DVD操作時は、アングルを切り替えることができます。
- ㉖ 録音/削除ボタン  
現在再生中のソースをミュージックサーバーへ録音開始または録音終了したり、入力した文字を削除するときを使用します。  
DVD操作時は、字幕言語を切り替えることができます。

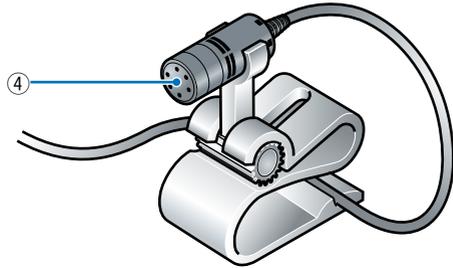
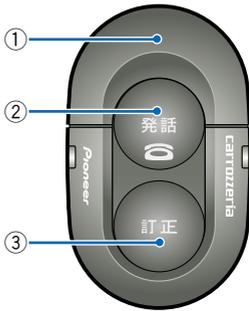
## ナビゲーション操作

- ② 自宅ボタン  
自宅を登録するときに使用します。  
すでに自宅が登録されているときは、自宅までのルートを探索します。
- ③ クイックルートボタン  
クイックルート探索するときを使用します。
- ⑬ 現在地ボタン  
ナビゲーションの現在地表示に切り替えます。

## オーディオ操作関連

- ⑪ BACKボタン  
オーディオ操作で一つ前の画面に戻るときに使用します。
- ⑫ A.MENUボタン  
組み合わせているパイオニア製のモニターのメニュー操作をします。
- ⑬ BAND/ESCボタン  
テレビやラジオのバンドを切り替えます。
- ⑰ ボリュームレバー  
ボリュームレバーを+または-に倒し、音量を調節します。
- ⑲ SOURCEボタン  
ソースを切り替えるときに使用します。  
長く押すとソースをOFFにします。
- ㉑ ▲/▼/◀/▶ボタン  
曲の早送りや早戻し、ラジオ、テレビの放送局を変えるときなどに使用します。
- ㉒ TOP.M( DVD )ボタン  
DVDの最上位のメニューを表示します。
- ㉓ MENU( DVD )ボタン  
DVDのディスクメニューを表示します。

## 音声認識コントローラー/マイク



準備

各部の名称とおもな働き

## ① 送信部

ここから音声認識コントローラーの信号が送られます。

## ② 発話ボタン

音声操作を開始します。ボタンを押してからマイクに向かって発話します。電話を受けるまたは切ることができます。ルートアドバイザーの操作ができます。

## ③ 訂正ボタン

音声での操作中に、直前の操作を取り消します。  
電話着信時に応答保留ができます。  
ルートアドバイザーの操作もできます。  
VICSビーコン割り込みの解除ができます。

## ④ 音声認識用マイク

“②発話ボタン”を押したあと、このマイクを通してナビゲーション操作やオーディオ操作をします。ハンズフリー通話を利用する場合も、このマイクを使って通話します。

## リモコンの使いかた

## リモコンを向ける方向

バイオニア製TVモニターと組み合わせている場合

リモコンの先端(送信部)をTVモニターの受光部に向けて操作します。

他社モニターと組み合わせている場合

他社モニターを組み合わせてご使用になる場合は、受光部付スピーカー(別売の「CD-TS36」)を取り付けると、付属のリモコンを使用することができます。リモコンの先端(送信部)を受光部付スピーカーに向けて操作します。

## ご注意

- リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障することがあります。リモコンを使用しないときは、グローブボックスなど直射日光の当たらないところに保管してください。

## メモ

- 受光部に直接日光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。このような場合は、日光をさえぎってからリモコンを操作してください。
- 他社モニターを組み合わせる場合は、受光部付スピーカー「CD-TS36」(別売)とRGB変換アダプター「CD-RGB30P」(別売)が必要です。

## ユニバーサルパッドの操作のしかた

本書で「ユニバーサルパッドを右側に操作する」と表記されているときは、ユニバーサルパッドの右側に触れます。「ユニバーサルパッドで項目を選び(決定)を押す」と表記されているときは、ユニバーサルパッドに触れ項目を選択して(決定)を押します。



ユニバーサルパッドの右側に触れます。



ユニバーサルパッドに触れ項目を選択する。



(決定)を押す。

## リモコンの操作モードについて

本機に付属のリモコンでは、操作モードを切り替えることにより、ナビゲーションの操作はもちろん、本機内蔵のオーディオやパイオニア製メインユニットも操作できます。使用目的に応じて、リモコンの左側面にある操作モード切替スイッチを切り替えてください。

準備

リモコンの操作モードについて

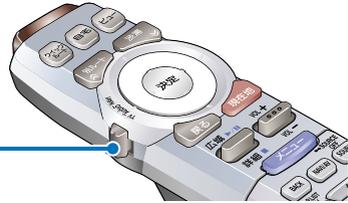
ナビゲーション操作モードに切り替わります。

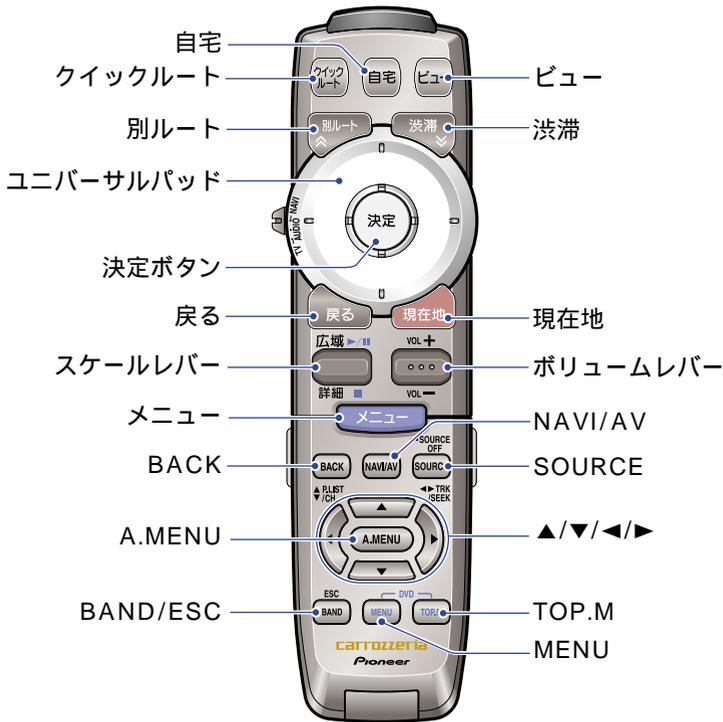


オーディオ操作モードに切り替わります。



テレビ操作モードに切り替わります。





準備

リモコンの操作モードについて



## ナビゲーション操作モード/テレビ操作モードに切り替えた場合

組み合わせた機器に合わせてリモコンを設定（P30）してある場合、操作モードを切り替えると、操作対象の機器が表のように切り替わります。

AVX-P9DV、AVX-P7を組み合わせた場合（モードスイッチ：S側） （パイオニア製メインユニットとIP-BUS接続）			
	ナビゲーション操作モード	オーディオ操作モード	テレビ操作モード
自宅	ナビゲーションの操作	使用できません	使用できません
クイックルート	ナビゲーションの操作	使用できません	使用できません
別ルート	ナビゲーションの操作	使用できません	使用できません
戻る	ナビゲーションの操作	使用できません	使用できません
メニュー	ナビゲーションの操作	使用できません	使用できません
ビュー	ナビゲーションの操作	使用できません	使用できません
渋滞	ナビゲーションの操作	使用できません	使用できません
現在地	ナビゲーションの操作	使用できません	使用できません
スケールレバー	ナビゲーションの操作 /本機のDVD操作	DVH-P077の DVD操作	AVX-P9DVの DVD操作
ボリュームレバー	ナビゲーションの操作	パイオニア製 メインユニットの操作	AVX-P7の操作
ユニバーサルパッド	ナビゲーションの操作	DVH-P077の DVD操作	AVX-P9DVの DVD操作
決定ボタン	ナビゲーションの操作	DVH-P077の DVD操作	AVX-P9DVの DVD操作
BACK	AVX-P9DV/ AVX-P7の操作	パイオニア製 メインユニットの操作	AVX-P9DV/ AVX-P7の操作
A.MENU	AVX-P9DV/ AVX-P7の操作	パイオニア製 メインユニットの操作	AVX-P9DV/ AVX-P7の操作
BAND/ESC	AVX-P9DV/ AVX-P7の操作	パイオニア製 メインユニットの操作	AVX-P9DV/ AVX-P7の操作
▲/▼/◀/▶	本機のソース/AVX- P9DV/AVX-P7の操作	パイオニア製メインユニット /AVX-P9DV/AVX-P7の操作	本機のソース/AVX- P9DV/AVX-P7の操作
SOURCE	本機のソース/AVX- P9DV/AVX-P7の操作	パイオニア製メインユニット /AVX-P9DV/AVX-P7の操作	本機のソース/AVX- P9DV/AVX-P7の操作
NAVI/AV	AVX-P9DV/ AVX-P7の操作	パイオニア製 メインユニットの操作	AVX-P9DV/ AVX-P7の操作
MENU	本機のDVD操作	パイオニア製DVD付きメ インユニットのDVD操作	AVX-P9DVの DVD操作
TOP.M	本機のDVD操作	パイオニア製DVD付きメ インユニットのDVD操作	AVX-P9DVの DVD操作
10キー、その他	ナビゲーションの操作 /本機のDVD操作	パイオニア製DVD付きメ インユニットのDVD操作	AVX-P9DVの DVD操作



AVX-P9DV、AVX-P7を組み合わせた場合（モードスイッチ：M側）  
（パイオニア製メインユニットとIP-BUS接続無し）



	ナビゲーション操作モード	オーディオ操作モード	テレビ操作モード
自宅	ナビゲーションの操作	使用できません	使用できません
クイックルート	ナビゲーションの操作	使用できません	使用できません
別ルート	ナビゲーションの操作	使用できません	使用できません
戻る	ナビゲーションの操作	使用できません	使用できません
メニュー	ナビゲーションの操作	使用できません	使用できません
ビュー	ナビゲーションの操作	使用できません	使用できません
渋滞	ナビゲーションの操作	使用できません	使用できません
現在地	ナビゲーションの操作	使用できません	使用できません
スケールレバー	ナビゲーションの操作 /本機のDVD操作	AVX-P9DVの DVD操作	使用できません
ボリュームレバー	ナビゲーションの操作	パイオニア製 メインユニットの操作	AVX-P7の操作
ユニバーサルパッド	ナビゲーションの操作	AVX-P9DVの DVD操作	使用できません
決定ボタン	ナビゲーションの操作	AVX-P9DVの DVD操作	使用できません
BACK	AVX-P9DV/ AVX-P7の操作	パイオニア製 メインユニットの操作	AVX-P9DV/ AVX-P7の操作
A.MENU	AVX-P9DV/ AVX-P7の操作	パイオニア製 メインユニットの操作	AVX-P9DV/ AVX-P7の操作
BAND/ESC	AVX-P9DV/ AVX-P7の操作	パイオニア製 メインユニットの操作	AVX-P9DV/ AVX-P7の操作
▲/▼/◀/▶	本機のソース/AVX- P9DV/AVX-P7の操作	パイオニア製 メインユニットの操作	本機のソース/AVX- P9DV/AVX-P7の操作
SOURCE	本機のソース/AVX- P9DV/AVX-P7の操作	パイオニア製 メインユニットの操作	本機のソース/AVX- P9DV/AVX-P7の操作
NAVI/AV	AVX-P9DV/ AVX-P7の操作	パイオニア製 メインユニットの操作	AVX-P9DV/ AVX-P7の操作
MENU	本機のDVD操作	AVX-P9DVの DVD操作	使用できません
TOP.M	本機のDVD操作	AVX-P9DVの DVD操作	使用できません
10キー、その他	ナビゲーションの操作 /本機のDVD操作	AVX-P9DVの DVD操作	使用できません

準備

リモコンの操作モードについて

AVH-P9DVAを組み合わせた場合



	ナビゲーション操作モード	オーディオ操作モード	テレビ操作モード
自宅	ナビゲーションの操作	使用できません	「ナビゲーション操作モード」と同様
クイックルート	ナビゲーションの操作	使用できません	「ナビゲーション操作モード」と同様
別ルート	ナビゲーションの操作	使用できません	「ナビゲーション操作モード」と同様
戻る	ナビゲーションの操作	使用できません	「ナビゲーション操作モード」と同様
メニュー	ナビゲーションの操作	使用できません	「ナビゲーション操作モード」と同様
ビュー	ナビゲーションの操作	使用できません	「ナビゲーション操作モード」と同様
渋滞	ナビゲーションの操作	使用できません	「ナビゲーション操作モード」と同様
現在地	ナビゲーションの操作	使用できません	「ナビゲーション操作モード」と同様
スケールレバー	ナビゲーションの操作 /本機のDVD操作	AVH-P9DVAの DVD操作	「ナビゲーション操作モード」と同様
ボリュームレバー	ナビゲーションの操作	AVH-P9DVAの操作	「ナビゲーション操作モード」と同様
ユニバーサルパッド	ナビゲーションの操作	AVH-P9DVAの DVD操作	「ナビゲーション操作モード」と同様
決定ボタン	ナビゲーションの操作	AVH-P9DVAの DVD操作	「ナビゲーション操作モード」と同様
BACK	使用できません	AVH-P9DVAの操作	「ナビゲーション操作モード」と同様
A.MENU	使用できません	AVH-P9DVAの操作	「ナビゲーション操作モード」と同様
BAND/ESC	本機のソース	AVH-P9DVAの操作	「ナビゲーション操作モード」と同様
▲/▼/◀/▶	本機のソース	AVH-P9DVAの操作	「ナビゲーション操作モード」と同様
SOURCE	本機のソース	AVH-P9DVAの操作	「ナビゲーション操作モード」と同様
NAVI/AV	AVH-P9DVAの操作	AVH-P9DVAの操作	「ナビゲーション操作モード」と同様
MENU	本機のDVD操作	AVH-P9DVAの DVD操作	「ナビゲーション操作モード」と同様
TOP.M	本機のDVD操作	AVH-P9DVAの DVD操作	「ナビゲーション操作モード」と同様
10キー、その他	ナビゲーションの操作 /本機のDVD操作	AVH-P9DVAの DVD操作	「ナビゲーション操作モード」と同様

準備

リモコンの操作モードについて

AXM-P9、DEQ-P9を組み合わせた場合			
	ナビゲーション操作モード	オーディオ操作モード	テレビ操作モード
自宅	ナビゲーションの操作	ナビゲーションの操作	使用できません
クイックルート	ナビゲーションの操作	ナビゲーションの操作	使用できません
別ルート	ナビゲーションの操作	ナビゲーションの操作	使用できません
戻る	ナビゲーションの操作	ナビゲーションの操作	使用できません
メニュー	ナビゲーションの操作	ナビゲーションの操作	使用できません
ビュー	ナビゲーションの操作	ナビゲーションの操作	使用できません
渋滞	ナビゲーションの操作	ナビゲーションの操作	使用できません
現在地	ナビゲーションの操作	ナビゲーションの操作	使用できません
スケールレバー	ナビゲーションの操作 /本機のDVD操作	ナビゲーションの操作	AVX-P9DVの DVD操作
ボリュームレバー	ナビゲーションの操作	AXM-P9の操作	AVX-P7の操作
ユニバーサルパッド	ナビゲーションの操作	ナビゲーションの操作	AVX-P9DVの DVD操作
決定ボタン	ナビゲーションの操作	ナビゲーションの操作	AVX-P9DVの DVD操作
BACK	AVX-P9DV/ AVX-P7の操作	使用できません	AVX-P9DV/ AVX-P7の操作
A.MENU	AVX-P9DV/ AVX-P7の操作	使用できません	AVX-P9DV/ AVX-P7の操作
BAND/ESC	AVX-P9DV/ AVX-P7の操作	AXM-P9の操作	AVX-P9DV/ AVX-P7の操作
▲/▼/◀/▶	本機のソース/AVX- P9DV/AVX-P7の操作	AXM-P9/AVX-P9DV/ AVX-P7の操作	本機のソース/AVX- P9DV/AVX-P7の操作
SOURCE	本機のソース/AVX- P9DV/AVX-P7の操作	AXM-P9/AVX-P9DV/ AVX-P7の操作	本機のソース/AVX- P9DV/AVX-P7の操作
NAVI/AV	AVX-P9DV/ AVX-P7の操作	AVX-P9DV/ AVX-P7の操作	AVX-P9DV/ AVX-P7の操作
MENU	本機のDVD操作	DVH-P077のDVD操作	AVX-P9DVの DVD操作
TOP.M	本機のDVD操作	DVH-P077のDVD操作	AVX-P9DVの DVD操作
10キー、その他	ナビゲーションの操作 /本機のDVD操作	「1」～「6」まではAXM-P9の 操作、その他は使用 できません	AVX-P9DVの DVD操作



準備

リモコンの操作モードについて

他社モニターを組み合わせた場合



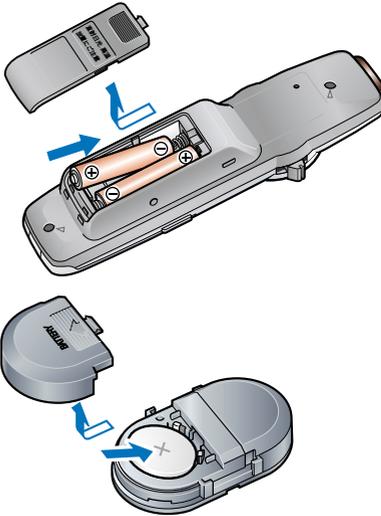
	ナビゲーション操作モード	オーディオ操作モード	テレビ操作モード
自宅	ナビゲーションの操作	「ナビゲーション操作モード」と同様	「ナビゲーション操作モード」と同様
クイックルート	ナビゲーションの操作	「ナビゲーション操作モード」と同様	「ナビゲーション操作モード」と同様
別ルート	ナビゲーションの操作	「ナビゲーション操作モード」と同様	「ナビゲーション操作モード」と同様
戻る	ナビゲーションの操作	「ナビゲーション操作モード」と同様	「ナビゲーション操作モード」と同様
メニュー	ナビゲーションの操作	「ナビゲーション操作モード」と同様	「ナビゲーション操作モード」と同様
ビュー	ナビゲーションの操作	「ナビゲーション操作モード」と同様	「ナビゲーション操作モード」と同様
渋滞	ナビゲーションの操作	「ナビゲーション操作モード」と同様	「ナビゲーション操作モード」と同様
現在地	ナビゲーションの操作	「ナビゲーション操作モード」と同様	「ナビゲーション操作モード」と同様
スケールレバー	ナビゲーションの操作 /本機のDVD操作	「ナビゲーション操作モード」と同様	「ナビゲーション操作モード」と同様
ボリュームレバー	ナビゲーションの操作	「ナビゲーション操作モード」と同様	「ナビゲーション操作モード」と同様
ユニバーサルパッド	ナビゲーションの操作	「ナビゲーション操作モード」と同様	「ナビゲーション操作モード」と同様
決定ボタン	ナビゲーションの操作	「ナビゲーション操作モード」と同様	「ナビゲーション操作モード」と同様
BACK	使用できません	「ナビゲーション操作モード」と同様	「ナビゲーション操作モード」と同様
A.MENU	使用できません	「ナビゲーション操作モード」と同様	「ナビゲーション操作モード」と同様
BAND/ESC	本機のソース	「ナビゲーション操作モード」と同様	「ナビゲーション操作モード」と同様
▲/▼/◀/▶	本機のソース	「ナビゲーション操作モード」と同様	「ナビゲーション操作モード」と同様
SOURCE	本機のソース	「ナビゲーション操作モード」と同様	「ナビゲーション操作モード」と同様
NAVI/AV	ナビゲーションと AV切り替え	「ナビゲーション操作モード」と同様	「ナビゲーション操作モード」と同様
MENU	本機のDVD操作	「ナビゲーション操作モード」と同様	「ナビゲーション操作モード」と同様
TOP.M	本機のDVD操作	「ナビゲーション操作モード」と同様	「ナビゲーション操作モード」と同様
10キー、その他	ナビゲーションの操作 /本機のDVD操作	「ナビゲーション操作モード」と同様	「ナビゲーション操作モード」と同様

準備

リモコンの操作モードについて

# 準備をしましょう

## リモコンに電池をセットする



### リモコン

裏ボタンをはずして、単4形アルカリ乾電池( LR03 )2本をセットします。

### 音声認識コントローラー

裏ボタンをはずして、リチウム電池( CR2032 )の( + )側を上にしてセットします。

### ご注意

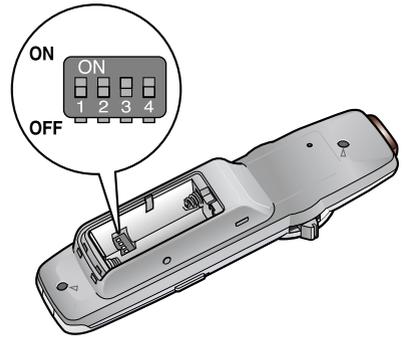
- リモコンや音声認識コントローラーを長期間使わないときは、電池を取り出してください。また、取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 電池の液もれが起こったときは、内部に付着した液をよく拭き取ってから新しい電池と入れ換えてください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示( 条例 )に従って処理してください。

### メモ

- 乾電池やリチウム電池は充電できません。
- リモコンや音声認識コントローラーからの信号が受け付けられる範囲が狭くなってきたり、地図のスクロール速度や反応が鈍くなったりしたときは、新しい電池と交換してください。
- リモコンの電池を交換するときは、電池寿命の長いアルカリ電池などのご使用をおすすめします。

## リモコンをテレビに合わせて設定する

組み合わせるTVモニターやカーステレオにより、スイッチ1からスイッチ4を以下のように設定してください。スイッチはリモコンの裏ボタンはずしたリモコン本体内にあります。ボールペンの先などで切り替えてください。



## スイッチ1、2、4

組み合わせるモニター	スイッチ1	スイッチ2	スイッチ4
AVX-P9DV、AVX-P7	OFF	未使用	OFF
AVH-P9DVA	ON	未使用	OFF
他社モニター（RCA接続TV）	OFF	未使用	ON

スイッチ2は使用しません。OFFのままにしてお使いください。

## スイッチ3

組み合わせるカーステレオ	スイッチ3
パイオニア製メインユニット	OFF
AXM-P9など （オーディオマスターユニット）	ON

## ブレインユニットの入れかた・取り出しかた

ブレインユニットにはカーナビの心臓部であるカーコンピューターとハードディスク、CF型カード挿入口が搭載されています。まず、ナビゲーション本体にブレインユニットを取り付けてご使用ください。

ブレインユニットをナビゲーション本体から取り外し、付属のリビングキットで使用すれば、部屋でナビゲーション機能やミュージックサーバーなどを楽しむことができます。「リビングキットについて」(P62)

### ご注意

- ブレインユニットにCF型カードなどを入れたまま持ち運ぶと、カードに物が当たったり、衝撃が加わりカードや本体が破損する恐れがあります。
- ブレインユニットを持ち運ぶときは必ず専用のキャリングケースに入れてください。落下や衝撃によりブレインユニットが破損する恐れがあります。
- 急激な温度変化を与えると、結露が生じ、異常の原因となります。自然に結露の状態がなくなるまで使用しないでください。

### ブレインユニットの入れかた

1



フロントドアを開ける

2



スライドレバーをスライドし、ブレインユニットカバーを開く

ブレインユニット挿入口があらわれます。

3



キャリングケースからブレインユニットを取り出す

準備

ブレインユニットの入れかた・取り出しかた

4



## ブレインユニットをカチッと音がするまで差し込む

メモ

- ブレインユニット取り出しボタンが出ていないことを確認してから、ブレインユニットを差し込んでください。

5



## ブレインユニットカバーを閉じる

メモ

- ブレインユニットが奥まで差し込まれていることを確認してから、カバーを閉じてください。
- ブレインユニット取り出しボタンが出ていないことを確認してから、カバーを閉じてください。

6



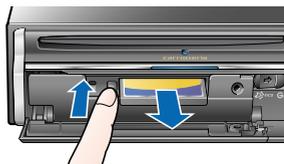
## フロントドアを閉じる

準備

ブレインユニットの入れかた・取り出しかた

## ブレインユニットの取り出しかた

1



## CF型カードを取り出す ( P64 )

ブレインユニットにCF型カードが差し込まれている場合は、ブレインユニットを取り出す前に、CF型カードを取り出してください。

2



## フロントドアを開ける

3



## スライドレバーをスライドし、 ブレインユニットカバーを開く

エンジンスイッチがON(本機の電源がON)状態でブレインユニットカバーを開けると、ブレインユニット前面のブレインユニットPOWERランプが点滅を始めます。点滅が終了し、ランプが消灯したらブレインユニットを取り出すことができます。

準備

4



## ブレインユニットPOWER ランプが消灯していることを 確認する

5



## ブレインユニット取り出し ボタンを押し、ボタンが出 てきたらもう一度押す

ブレインユニットが出てきます。



6



## キャリングケースにブレイ ンユニットを入れる

### ご注意

- 取り出しの際、ブレインユニットの落下や衝撃にご注意ください。

ブレインユニットの入れかた・取り出しかた

7



ブレインユニットカバーを  
閉じる

8



フロントドアを閉じる

準備

ブレインユニットの入れかた・取り出しかた

## ブレインユニットを取り出した場合の制限事項

本機はブレインユニットを取り外すと、次の機能が使用できなくなります。

- ナビゲーション  
すべての操作ができません。
- DVDやCD、WMA/MP3  
すべての操作ができません。
- ミュージックサーバー  
再生や録音などすべての操作ができません。
- システム設定 『オーディオブック』  
ブレインユニット取り出し前の設定内容を保持します。
- 音声認識  
すべての操作ができません。
- 携帯電話  
ハンズフリー通話はできません。

### メモ

- リセットボタンを押すとシステム設定など設定した内容が消去されます。再度ブレインユニットを入れ設定してください。
- 本機にディスクが入っている場合、取り出すことはできません。再度ブレインユニットを入れディスクを取り出してください。

## 電源について

## 電源の入れかた・切りかた

本機の電源は、車のエンジンスイッチをONにすると自動的に入り、エンジンスイッチをOFFにすると電源も切れます。

## ご注意

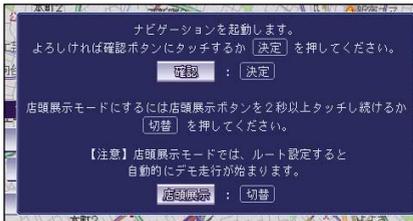
- 本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

## メモ

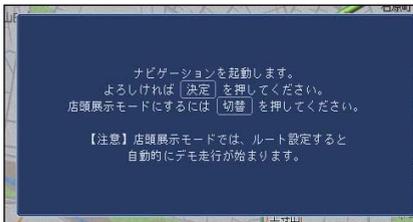
- ナビゲーションのみの電源を切ることはできません。

## はじめてお使いになるときについて

本機取り付け後、はじめて電源を入れたときは、以下の画面が表示されます。「3Dハイブリッドセンサーについて」( P36 )を参照し、本機を正しく使用できるようにしましょう。



タッチ操作可能なテレビモニター



タッチ操作ができないテレビモニター

## 3Dハイブリッドセンサーについて

3Dハイブリッドセンサーは自転車位置を高精度に測位するための機能の一つです。初めてご使用になる場合は、エンジンスイッチをON(本機の電源をON)にすると、本機内蔵の3Dハイブリッドセンサーの初期学習が自動的に始まります。

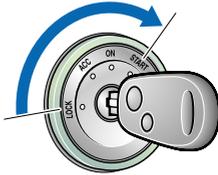


- 本機の設置場所を変更した場合は、センサー学習状態をリセットしてください。  
『ナビゲーションブック』

### 初期学習を開始させる

初期学習は、本機の取り付け後、初めて電源を入れたときに操作します。

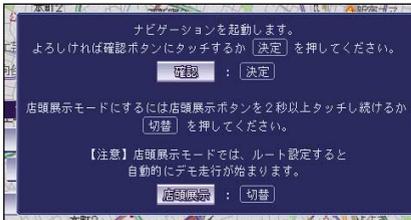
1



**エンジンスイッチをONにする(本機の電源をONにする)**

しばらくすると手順2の画面が表示されます。

2



**確認** にタッチするかリモコンの**決定** を押す

走行を開始すると3Dハイブリッドセンサーの初期学習が自動的に始まります。

3Dハイブリッドセンサーの初期学習が終了するまでは、GPS衛星のみの測位となるため、自転車位置が更新されない、自転車位置や方向が正しくない(道路上にいないなど)案内が出たり出なかったりする場合がありますが、故障ではありません。初期学習が終了すると、高精度で自転車位置を測位することが可能になります。



- 店頭展示モードは店頭でのデモンストレーション用のため、**店頭展示** をタッチ、または **オフフック/切替** を押さないでください。  
エラーメッセージが表示されたときは、「3Dハイブリッドセンサーのエラーメッセージ」(P75)を参照してください。

# ここから操作します

## 基本的な操作のしかた

メニューから項目を選んで実行する、これが操作の基本です。

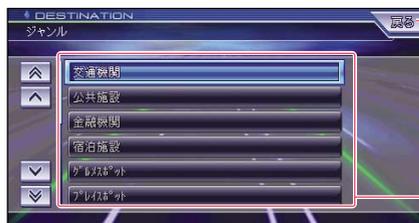
本機の操作はリモコンで行います。タッチ操作可能なテレビモニターと組み合わせた場合は、タッチ操作でも操作することができます。

### ご注意

- 安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

## タッチ操作とリモコン操作の表示

画面には、タッチ操作のみのボタンと、ユニバーサルパッドでも選ぶことのできるボタンの2種類があります。



銀色のタッチキーはタッチ操作のみです。リモコンでのカーソル移動による選択はできません。リモコンの場合は専用のボタン(戻る)などをお使いください。

黒いタッチキーは、タッチ操作とリモコン操作の両方が操作できます。

### メモ

- AVH-P9DVAまたは他社モニターと組み合わせた場合は、タッチ操作することはできません。

## スタートメニューを表示させる

ナビゲーションを利用するときは、スタートメニューを表示させます。

スタートメニューには、[ 行き先・場所 ]のメニューと、[ 情報・通信 ] [ 編集・設定 ]のメニューがあります。

各メニュー項目の内容は、『ナビゲーションブック』を参照してください。

## [ 行き先・場所 ] メニューの表示

行き先を設定してルート案内を始めたり、場所を探して詳細情報の表示や登録などを行うことができます。

1



地図画面で **メニュー** を押す

[ 行き先・場所 ] メニューが表示されます。

2



タッチ操作：

**メニュー**項目を選んでタッチする

リモコン操作：

**ユニバーサルパッド**で項目を選び **決定** を押す

選んだ項目を実行する画面が表示されます。

## [ 情報・通信 ] メニューの表示

ドライブに役立つ各種情報の表示や、携帯電話やインターネットなどを使用することができます。

1



**メニュー** を押す

[ 行き先・場所 ] メニューが表示されます。

2



タッチ操作：

**情報・通信** タブにタッチする

リモコン操作：

**行き先・場所** タブが選択されている状態でユニバーサルパッドを右側に操作する

[ 情報・通信 ] メニューが表示されます。

3



タッチ操作：  
メニュー項目を選んでタッチする

リモコン操作：  
ユニバーサルパッドで項目を選び(決定)を押す

選んだ項目を実行する画面が表示されます。

[ 編集・設定 ] メニューの表示

編集や各種設定を行うことができます。

1



メニューを押す

[ 行き先・場所 ]メニューが表示されます。

2



タッチ操作：  
編集・設定 タブにタッチする

リモコン操作：  
行き先・場所 タブが選択されている状態でユニバーサルパッドを右側に2回操作する  
[ 編集・設定 ]メニューが表示されます。

3



タッチ操作：  
メニュー項目を選んでタッチする

リモコン操作：  
ユニバーサルパッドで項目を選び(決定)を押す

選んだ項目を実行する画面が表示されます。

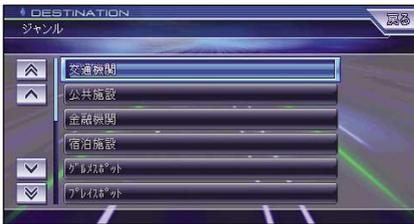
いろいろな画面の  
操作のしかた

ナビゲーション、各種の設定などで表示される画面について、その共通操作を画面ごとに説明します。

リストの表示切り替えについて

共通操作

左横に **▲**・**△**・**▽**・**▼** が表示されます。そのキーにタッチしたり、リモコンの **別ルート**、**渋滞** を押したり、ユニバーサルパッドを操作することで、カーソルを移動したり、見えていない項目を表示させることができます。



カーソル送り: **▲**・**▼** に直接タッチするか、ユニバーサルパッドを上/下に操作する

ページ送り: **▲**・**▽** に直接タッチするか、リモコンの **別ルート**、**渋滞** を押す

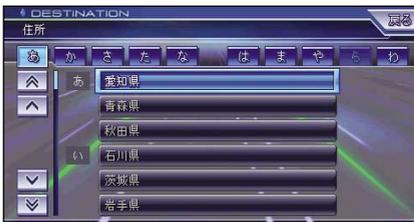
一つ前の画面に戻ります: **戻る** に直接タッチするか、リモコンの **戻る** を押す



- ナビゲーションのリスト画面では、右側に地図が表示されるものがあります(サイドマップ)。 **サイドマップの操作**については、『ナビゲーションブック』

タブ付きリスト

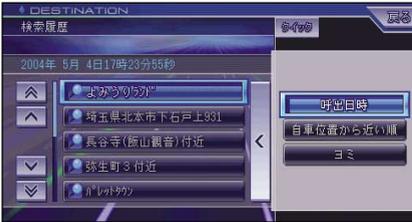
ナビゲーションの市区町村名、地名などのリストでは、共通操作の他にタブにタッチするか、ユニバーサルパッドを左/右に操作することで画面表示を切り替えることができます。行送りの場合は、「あ行」から「か行」、「さ行」のようにリスト表示を切り替えることができます。



タブ送り: タブに直接タッチするか、ユニバーサルパッドを左/右に操作する

## サブメニューについて

項目を複数選択できるチェックタイプリストなどでは、サブメニューを持つものがあります。サブメニューを表示して、「全選択」したり「全解除」したりすることができます。



- ▶ (サブメニューを表示する):
  - ▶ に直接タッチするか、ユニバーサルパッドを右に操作する
- ◀ (サブメニューを閉じる):
  - ◀ に直接タッチするか、ユニバーサルパッドを左に操作する

メニュー項目の選択：

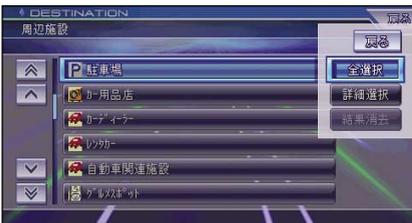
直接タッチするか、ユニバーサルパッドを上/下に操作して選び(決定)を押す



- チェックタイプリストでは、項目を選択すると、チェックマークが表示されます。

## ポップアップメニューについて

リストの項目を選択するとポップアップメニューが表示されるものがあります。ポップアップメニューを表示して、機能を選択することができます。



メニュー項目の選択：

直接タッチするか、ユニバーサルパッドを上/下に操作して選び(決定)を押す

ショートカットメニューを表示させる

十字カーソル位置または現在地に対して、利用頻度の高い機能(ルート探索や場所の登録など)がショートカットメニューとして割り当てられています。ショートカットメニューを使用すると、通常のメニュー操作のステップをいくつか省略して、すばやく操作できます。

1

通常走行画面からのショートカットメニュー



タッチ操作：

**(ショートカット)にタッチする**

リモコン操作：

**決定**を押す

その場所に対するショートカットメニューが表示されます。

スクロール画面からのショートカットメニュー



メモ

- ショートカットメニューは現在地またはスクロールなど表示させた状態により、選択できる項目が変わります。
- ショートカットメニューの表示を解除するときは、**地図に戻る**にタッチするか、リモコンの**戻る**を押す。

各ショートカットメニュー項目の内容は『ナビゲーションブック』を参照してください。

# 地図の見かたや操作を覚えよう

現在地を  
表示させる

**現在地** を押すと、自車の現在地周辺の地図を表示します。  
現在地画面は、車の走行に合わせて自動的に動きます。

## 現在地画面

ノーマルビュー

軌跡表示

現在の時刻



抜け道表示  
紫色に点滅して表示されます。

自車マーク  
車の位置と進行方向を表します。

方位表示  
赤い三角が北方向を示します。

現在地の地名  
自車位置周辺の地名を示します。

VICSの情報提供時刻

スケール表示

下の  がスケールの距離を示します  
(2D表示のみ)



- 道幅5.5m未満の道路(細街路)以外を走行しているときは、細街路は表示されません。

地図の  
動かしかた

地図を動かすには、地図上の見たい場所をタッチするか、ユニバーサルパッドを操作して見たい場所の方向に地図をスクロールします。スクロールすると、自車マークに替わって十字カーソルが表示されます。

スクロール画面



十字カーソル画面の中心に表示されます。

現在地の方向十字カーソル位置と現在地を結んだ線

現在地から十字カーソル位置までの直線距離

十字カーソル位置の地名  
十字カーソル位置周辺の地名を示します。

タッチで操作する場合



- 走行中にスクロール操作をすると、タッチしたところまでスクロールして停止します。ただし、詳細市街地図表示中はスクロールできません。

『ナビゲーションブック』

1



画面にタッチする

カーソルが表示され、タッチした場所が中心となるように地図が動きます。



- タッチし続けると、その方向にスクロールします。また、画面中央のカーソルから離れた場所にタッチするほど、スクロールする速度が速くなります。

微調整する

タッチで操作した場合は、タッチで微調整できます。

1



**微調整** にタッチする

8方向のスクロール矢印が表示されます。

メモ

- **微調整** は、ノーマルビューの場合のみ表示されます。

2



**表示を微調整する**

矢印にタッチすることにより地図が少しずつ動きます。また、画面の任意の場所をタッチしても地図が動きます。

メモ

- 画面にタッチしたまま指を動かし、スクロールすることもできます。

リモコンで操作する場合

メモ

- 走行中にユニバーサルパッドを操作すると、自動で画面半行程スクロールします。ただし、詳細市街地図表示中はスクロールできません。『ナビゲーションブック』

1



**地図を動かしたい方向に合わせてユニバーサルパッドを操作する**

ユニバーサルパッドを操作し続けている間、地図が動き続けます。

2



**地図のスクロールを止めるにはユニバーサルパッドから指を離す**

地図の縮小、  
拡大

地図は10m～500kmスケールの15段階に縮小、拡大できます。『ナビゲーションブック』

メモ

- 詳細市街地図収録エリアでは、地図のスケールが10m～50mスケールのときに詳細な市街地図で表示されます。『ナビゲーションブック』
- ウィンドウマップはスケール変更できます。
- 駐車場マップ表示中は、4m、8mでのスケール変更ができます。

タッチで操作する場合

1



スケール表示にタッチする

10m～1kmのスケールのボタンが表示されます。

2



「**広域**」または「**詳細**」にタッチする

「**広域**」：地図をより広く見たいとき

「**詳細**」：地図をより詳しく見たいとき

「**詳細**」にタッチする



「**広域**」にタッチする

スケールバーが表示され、現在のスケールがわかります。

タッチキーにタッチするごとに、スケールが変わります。

(例：10m 25m 50m 100m ...)



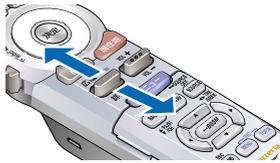
メモ

- タッチキーにタッチし続けると、スケールは段階的に変わります(フリーズーム)。ただし、走行中は安全のためフリーズームの操作はできません。

スケールバー  
現在のスケールを表示します。

## リモコンで操作する場合

1



### スケールレバーを[広域]側、または[詳細]側に倒す

[広域]: 地図をより広く見たいとき

[詳細]: 地図をより詳しく見たいとき



[詳細] 側  
↓ ↑  
側に倒す [広域] 側に倒す



スケールバー  
現在のスケールを表示します。

スケール表示の上にスケールバーが表示され、現在のスケールがわかります。スケールレバーを倒すごとに、スケールが変わります。

(例: 10m 25m 50m 100m ...)



- スケールレバーを倒し続けると、スケールは段階的に変わります(フリーズーム)。ただし、走行中は安全のためフリーズームの操作はできません。

ナビゲーション

地図の縮小、拡大

## 地図の表示方法を変える

さまざまな状況に応じて地図の表示方法を変えることができます。  
地図の表示方法は、5種類あります。

**ノーマルビュー**  
(2D表示)  
通常の地図(平面の地図)で表示されます。

**スカイビュー**  
(3D表示)  
上空から見ているような地図が表示されます。

**ハイウェイモード**  
有料道路走行時の専用画面で、走行に役立つ情報が表示されます。

**ドライバースビュー**  
(3D表示)  
ドライバーの目線から見たような地図が表示されます。ソリッドシティマップ収録エリア走行中はソリッドシティマップになります。

**ツインビュー**  
(2画面表示)  
画面が左右に2分割され、左画面にはスカイビュー、右画面にはノーマルビューで地図が表示されます。

各表示方法について、詳しくは『ナビゲーションブック』を参照してください。

1



ビュー

タッチ操作：  
地図が表示されている状態で**ビュー**にタッチする

リモコン操作：  
**ビュー**を押す

ビュー切り替えメニューが表示されます。

2



タッチ操作：  
表示方法を選んでタッチする

リモコン操作：  
ユニバーサルパッドを左/右に操作して表示方法を選び**決定**を押す

選択した表示方法で地図が表示されます。



メモ

- ビュー切り替えメニューが表示されている間(約8秒間)に選んでください。
- ドライバースビューを選択しているときは、ソリッドシティマップ収録エリア走行中は自動的にソリッドシティマップになります。
- ハイウェイモードは、有料道路走行時以外は選ぶことができません。

# 自宅を登録しておこう

本機を使い始める前に自宅の場所を登録しておきましょう。自宅の場所を登録しておく、ドライブ先から自宅へ帰るときなどに、簡単な操作でルートを設定できるようになります。

## ご注意

- 安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

自宅に  
いるときは

ここでは自宅にいるときに自宅を登録する方法を説明しています。

自宅以外の場所にいるとき、自宅の場所を地図で探して登録する方法については、『ナビゲーションブック』を参照してください。

## メモ

- 地図画面上で自転車マークが自宅の位置にあることを確認してください。
- ずれているときは、画面をスクロールして十字カーソルを自宅の位置に合わせてください。  
「地図の動かし方」(P44)
- 自宅の登録後に自宅登録操作を行うと、自宅までのルート探索が始まります。
- 自宅の場所を変更したい場合は、『ナビゲーションブック』

## タッチで操作する場合

1



**メニュー** を押す

[ 行き先・場所 ]メニューが表示されます。

2



**自宅** にタッチする

自宅登録確認画面が表示されます。

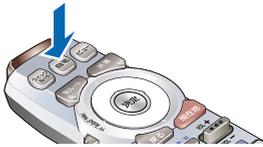
3



**はい** にタッチする  
自宅が登録されます。

リモコンで操作する場合

1



**自宅** を押す

2



**決定** を押す  
自宅が登録されます。

行き先を決めてルート案内をしてみよう

# 行き先を決めてルート案内をしてみよう

## スタートからゴールまでの流れ

### 1 目的地を検索しましょう

こんな検索方法があります

地図から探す  
行き先・場所メニューから探す  
クイックルート探索

### 2 目的地までのルートを設定しましょう

こんなルート設定ができます

6ルート同時探索  
渋滞予測ルート探索  
料金考慮ルート探索  
立ち寄り地指定  
乗り降りIC指定

1と2は出発前に実行しましょう



ナビゲーション

スタートからゴールまでの流れ

行き先を設定してルート案内させる

行き先を地図上で探して簡単にルートを設定することができます(ルート探索)。ルート探索が終了すると行き先までのルートが表示され、走行を開始するとルート案内が始まります。

メモ

- わかっている情報を手がかりに、メニューから行き先を探すこともできます。『ナビゲーションブック』

1



地図をスクロールさせて十字カーソルを行き先に合わせる

2



タッチ操作：  
[ショートカット]にタッチする

リモコン操作：  
[決定]を押す

ショートカットメニューが表示されます。

3



タッチ操作：  
[ここへ行く]にタッチする

リモコン操作：  
ユニバーサルパッドを上/下に操作して[ここへ行く]を選び[決定]を押す

行き先に旗マークが表示され、現在地から行き先までのルート探索が自動的に始まります。

メモ

- 十字カーソルが有料道路付近にある場合、目的地が有料道路上にあるかどうか確認する画面が表示されることがあります。『ナビゲーションブック』
- 場所によってはルート探索ができない場合があります。目的地の位置を変えてください。

4



タッチ操作：

**案内開始** にタッチする

リモコン操作：

ユニバーサルパッドで  
**案内開始** を選び **決定** を押す

行き先までのルートが設定されると、設定ルートは明るい緑色で表示されます。(細街路はピンク色、有料道路は明るい青色で表示されます)



**ルート確認 渋滞予測ルート**

**詳細ルート設定** の操作については、『ナビゲーションブック』を参照してください。

5

### 出発する

パーキングブレーキを解除して走行を始めると、ルート案内が始まります。

**ご注意**

- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。
- 実際の道路標識に従って走行してください。

**メモ**

- **案内開始** を操作しなくても、パーキングブレーキを解除するとルート案内が始まります。

目的地付近に到着すると、ルート案内は自動的に終了します。

自宅に帰る  
ルートを設定  
して案内させる

自宅が登録されている場合は、ワンタッチで自宅に帰るルートを設定することができます。ルート探索が終了すると自宅までのルートが表示され、走行を開始するとルート案内が始まります。

## タッチで操作する場合

1



**メニュー** を押す

[行き先・場所]メニューが表示されます。

2



**自宅** にタッチする

自宅に帰る最も効率のよいルートが、自動的に探索されます。

メモ

- 案内中のルートがあるときは、確認メッセージが表示されます。
- 最も効率のよいルートは、ルート探索基準、有料道路使用条件によって異なります。『ナビゲーションブック』



自宅までのルートが設定されると、設定ルートは明るい緑色で表示されます。(細街路はピンク色、有料道路は明るい青色で表示されます)

3

## 出発する

パーキングブレーキを解除して走行を始めると、ルート案内が始まります。

### ご注意

- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。
- 実際の道路標識に従って走行してください。

目的地付近に到着すると、ルート案内は自動的に終了します。

## リモコンで操作する場合

1



### 地図画面が表示されている状態で「自宅」を押す

自宅に帰る最も効率のよいルートが、自動的に探索されます。



- 案内中のルートがあるときは、確認メッセージが表示されます。
- 最も効率のよいルートは、ルート探索基準、有料道路使用条件によって異なります。 『ナビゲーションブック』

ナビゲーション

自宅に帰るルートを設定して案内させる

2

### 出発する

パーキングブレーキを解除して走行を始めると、ルート案内が始まります。

#### ご注意

- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。
- 実際の道路標識に従って走行してください。

目的地付近に到着すると、ルート案内は自動的に終了します。

## ルート案内中の画面

目的地まで案内するルートが設定されている場合に表示されます。

### ルート

設定したルートは、一般道路は明るい緑色（細街路はピンク色、有料道路は明るい青色）で表示されます。

### ルートインフォメーション

2つ先までの案内地点の距離、進行方向、次の案内地点の交差点名称が表示されます。



現在地画面

### 目的地の方向

現在地と目的地を結ぶ直線で表されます。

目的地までの道のり距離と到着予想時刻

交差点から離れると現在地画面に戻ります。

交差点に近づくとき交差点案内画面に変わります。

### レーン案内表示

レーンごとの進行方向が表示されます。緑色で表示されたレーンが誘導レーンです。

次の案内地点の名称と、そこまでの距離、進行方向

交差点案内画面



ウィンドウマップ ノーマルビューの地図が表示されます。

### ランドマーク

信号や目印になるお店などが表示されます。

表示例：ドライバーズビュー

# ディスクの入れかた・取り出しかた

## ディスクの入れかた

1



### 指定の挿入口にラベル面を上にしてディスクを差し込む

ディスクは途中まで差し込むと自動的に引き込まれます。

#### ご注意

- 8cmディスクもアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対に使用しないでください。
- ディスクの挿入口には、ディスク以外のものを入れないでください。

DVD/CD・WMA/MP3

2



### ディスクが奥まで挿入されます

## ディスクの取り出しかた

1



### ディスク取り出しボタンを押す

ディスクが自動的に押し出されます。

#### メモ

- 出てきたディスクはすぐに取り出して保管してください。

ディスクの入れかた/ディスクの取り出しかた

# オーディオ・DVDなどの切り替えかた

CDやWMA/MP3ディスク、ミュージックサーバーやDVDなどを切り替えると、画面にそれぞれの状態が表示されます。



- ディスクがセットされていないときは、そのソースには切り替わりません。
- 非再生ディスクが挿入された場合は、再生できません。ディスクを取り出してください。と表示されます。
- 組み合わせるTVモニターにより、リモコン本体内にあるスイッチ1～4を設定する必要があります。( P30 )

## AVX-P9DV/AVX-P7と組み合わせた場合

1

### ナビゲーションユニットのソース1またはソース2に切り替える

AVX-P9DV/AVX-P7の『取扱説明書』



- ナビゲーションユニットのソース1がDVD・CD・WMA/MP3で、ソース2がミュージックサーバーになります。

## AVH-P9DVAと組み合わせた場合

1

### ナビゲーションユニットに切り替える

AVH-P9DVAの『取扱説明書』

#### **SOURCE** を押す

**SOURCE** を押すごとに、以下のように切り替わります。  
DVD・CD・WMA/MP3    ミュージックサーバー



- リモコンをナビゲーション操作モードにして **SOURCE** を押してください。

## 他社モニターと組み合わせた場合

1

#### **SOURCE** を押す

**SOURCE** を押すごとに、以下のように切り替わります。  
DVD・CD・WMA/MP3    ミュージックサーバー

## 画面の切り替えかた

ナビゲーション画面からオーディオ・DVDなどの画面に切り替えるには、**NAV/AV** を押します。

1



**NAV/AV** を押す

**NAV/AV** を押すごとに、以下のように映像が切り替わります。

ナビゲーション画面



オーディオ・DVDなどの画面

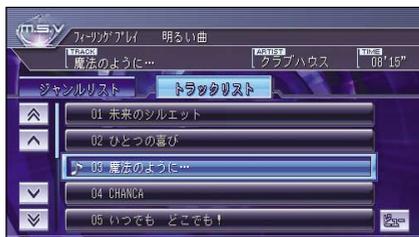


- 本機とAVX-P9DVまたはAVX-P7を組み合わせた場合は、AVX-P9DV/AVX-P7側のV.ADJボタンで切り替えることもできます。
- 本機とAVX-P9DVまたはAVX-P7、AVH-P9DVAを組み合わせた場合は、AVX-P9DV/AVX-P7/AVH-P9DVA側のソース画面、本機のソース時は本機のソース画面に切り替わります。

## 曲の切り替えかた

曲を切り替える基本的な方法を説明します。  
詳しい操作方法などについては、『オーディオブック』を参照してください。

1



タッチ操作：  
聞きたい曲にタッチする  
リモコン操作：

◀ または ▶ を押すかユニバーサルパッドを上/下に操作し決定を押す

## オーディオ・DVDなどのOFFのしかた

オーディオ・DVDなどのソースをOFFにするには、SOURCE を長く押す。

1



SOURCE を長く押す

「OFF」が表示されるまで押し続けてください。オーディオやDVDなどがOFFになります。

メモ▶

- 本機とAVX-P9DVまたはAVX-P7を組み合わせた場合は、AVX-P9DV/AVX-P7側でソースをOFFすることもできます。
- 本機とAVH-P9DVAを組み合わせた場合は、AVH-P9DVA側のソースをOFFにしても、本機のソースはOFFになりません。本機のソースをOFFにするには、SOURCE を長く押し続けてください。

# ミュージックサーバーとは

CDなどを録音して本機内蔵のハードディスクにためておき、いろいろな方法で再生することができる機能です。

ミュージックサーバーには約200枚分のCDを録音できます。お気に入りのCDを録音しておけば、CDを交換する手間がかからないため、連続再生をお楽しみいただけます。

ミュージックサーバーに録音できる枚数はCDによって異なりますので、目安としてお考えください。

ミュージックサーバーのおもな機能は以下のとおりです。

詳しくは『オーディオブック』を参照してください。

録音	CDの音源を録音することができます。CDは4倍速による同時録再、さらに裏録（録音中に他のソースを聴く）もできます。ただし、DVD、WMA/MP3ファイルなどのデータを録音することは著作権上できません。
再生	録音された音声を、ヒットチャートプレイやフィーリングプレイなどいろいろな方法で再生することができます。
編集	録音された音声について、曲名などの情報を登録したり、プレイリスト（曲の再生単位）などを編集することができます。

## メモ

- ミュージックサーバーの出荷時のCD録音モードはオートです。CDを再生すると、自動的にミュージックサーバーが録音を開始します。 『オーディオブック』

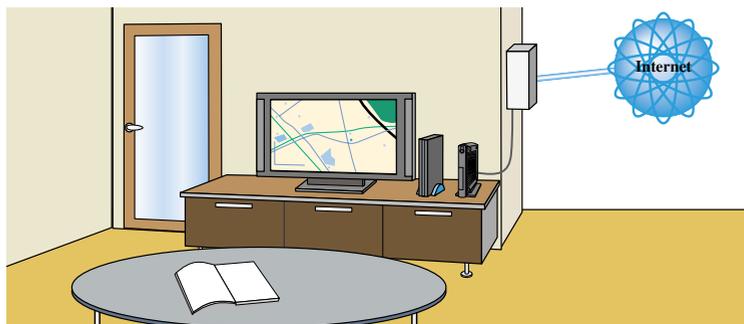
# リビングキットについて

## リビングキットとは

リビングキットとは、本機のブレインユニット(ハードディスク内蔵)を取り出し、ご自宅でナビゲーションやミュージックサーバーなどの操作を行うためのキットです。

リビングキットは専用のリモコンで操作しますが、操作方法は車載時と同様です。

リビングキットの接続や独特の操作など、リビングキットに関する事項は、リビングキットの取扱説明書を参照してください。



## メモリー/通信カードの入れかた・取り出しかた

本機では、市販のCF型メモリーカードや通信カードが使用できます。メモリーカードを使用すると、デジタルカメラで撮影した画像を地図上に表示したり、登録地のデータなどを保存しておくことができます。

## ご注意

- 市販のCF型メモリーカード以外は使用できません。規格の異なるメモリーカードを差し込むと、カード挿入口が破損するなどの故障の原因となります。
- 専用のドライバソフトウェアが必要なカードは使用できません。
- カードは精密機器です。製品の取扱説明書をよく読んでから使用してください。
- 装着可能な記録媒体には保証できる温度が低いものが存在します。長時間の使用ではカードを破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 長時間カードを装着して使用すると、カードが非常に熱くなる可能性がありますので注意してお取り扱いください。
- カードに強い衝撃や力を加えないでください。破損や故障する恐れがあります。
- 正しい手順以外の方法でカードを取り出した場合、データが消えたり壊れたりする恐れがあります。
- データの読み込みや書き込み中にカードを抜かないでください。データ転送中にカードが抜かれた場合、転送中のデータの内容は保証されません。
- 棒状のアンテナが付いているCF型通信カードをご使用される場合は、なるべくアンテナを水平にご使用ください。アンテナを真下に向くように通信カードを挿入するとフロントドアと接触する場合があります。

## メモ

- CF型カードとは「コンパクトフラッシュ」型カードの略です。
- 「コンパクトフラッシュ」はサンディスクコーポレーションの登録商標です。
- メモリーカードにたくさんのファイルが保存されていると、動作が始まるまで時間がかかることがあります。

## メモリーカード/通信カードの入れかた

1



フロントドアを開ける

2



CF型カード挿入口にメモリーカードまたは通信カードを差し込む

メモ

- おもて面を上にして、カードに記載されている矢印の向きに差し込んでください。

フロントドアを閉じる

3



## メモリーカード/通信カードの取り出しかた

カードを取り出すときは、電源をOFFにするか、ナビゲーションのメニュー画面で、カード電源をOFFにしてから、カードを取り出してください。

1



[編集・設定]メニューを表示する ( P39 )

付録

2



タッチ操作：

**カード電源OFF**にタッチする

リモコン操作：

ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して**カード電源OFF**を選び、**決定**を押す

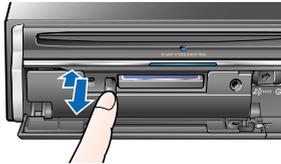


3

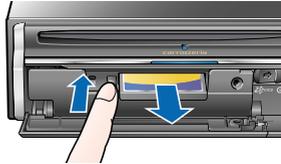


フロントドアを開ける

4



CF型カード取り出しボタンを押し、ボタンが出てきたら、もう一度押す  
カードが出てきます。



5



CF型カード挿入口から取り出したあと、フロントドアを閉じる

取り出したカードは、ケースに入れて保管してください。

# リセットについて

## リセットが必要なとき

次のようなときは、ナビゲーション本体をリセットしてください。

- 接続が終わった後
- 正しく動作しないとき
- 画面が正しく表示されないとき

## リセットすると消去される内容

- CD、WMA/MP3の前回再生のトラック情報(どこまで再生したかなどの情報)は消去されます。
- システム設定も消去されます。



- リセットボタンを押しても、登録地点やルート、センサーの学習内容、ミュージックサーバーなどの内容は消去されませんのでご安心ください。



**ボールペンの先などで本機のリセットボタンを押す**

# ディスクの正しい使いかた

## 取り扱い上のご注意

下記マークのついたディスクをご使用ください。

DVDビデオ



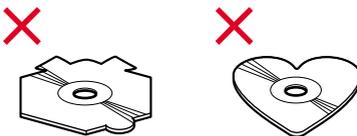
CD



ひび、キズ、そりのあるディスクは使用しないでください。



特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



ディスクを持つときは、記録面(虹色に光っている面)を触らないようにしてください。ディスクにキズを付けないでください。ディスクに紙やシールなどを貼り付けしないでください。

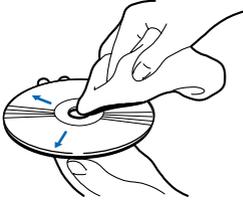


### メモ

- 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。
- 再生できるディスクの種類やファイル形式などについて、詳しくは『オーディオブック』を参照してください。

## お手入れについて

ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布で、ディスクの内側から外側へ向かって軽く拭いてください。



ディスクに、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。また、ディスクには、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。



## 保管上のご注意

ディスクは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。



ディスクがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

## ディスク再生の環境について

走行中に振動でディスクのデータを正確に読み取れないことがあります。(画面の表示切り替えが遅くなることがあります)

低温時、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本機内部のレンズやディスクに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然に露が取れるまでお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布で拭いてください。

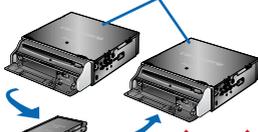
高温になると保護機能が働き、ディスク再生が停止します。

# ブレインユニットの正しい使いかた

## 取り扱い上のご注意

ブレインユニットはご購入いただきました製品本体以外では使用しないでください。正しく動作しなかったり起動しない場合があります。

HDDナビゲーションオートサーバー  
(またはHDD AVナビオートサーバー)

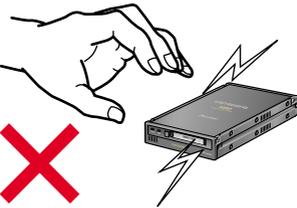


ブレインユニット



ブレインユニットはキャリングケースに入れ車の中にお持ち込みください。ブレインユニットをキャリングケースから取り出して持ち歩くと、思わぬ衝撃や静電気などにより破損することがあります。

ブレインユニット後面の端子部には触れないでください。端子部に触れると静電気により破損することがあります。



ブレインユニットを立てて置かないでください。ブレインユニットは、立てた状態から倒れただけの衝撃でも、破損することがあります。



ブレインユニットの上下に物を置かないでください。ブレインユニットに衝撃や重みなどが加わり、破損することがあります。



ブレインユニットを落とさないでください。ブレインユニットは、シートやクッションなどの柔らかい物の上にも落とすても、破損することがあります。



ぬれた手でブレインユニットに触れないでください。破損することがあります。



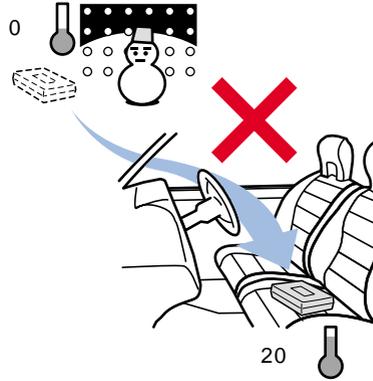
## 保管上のご注意

ブレインユニットを次のような場所に置かないでください。(破損の原因となります)

- \* 直射日光のあたる所(ダッシュボードなど)
- \* 外気が直接あたる所(屋外など)
- \* 湿気が多い所や少ない所(浴室や乾燥室など)
- \* 極端に暑い所や寒い所(保温庫や冷蔵庫の中など)
- \* 固有の振動が継続する所(冷蔵庫の上など)
- \* チリやホコリの多い所(床など)
- \* 油煙、蒸気、熱があたる所(台所など)
- \* 水のかかる場所(屋外など)
- \* 熱風や冷風があたる所(エアコンの吹出口など)
- \* 磁気のある所(磁石の近くやテレビの上など)

## 動作環境について

寒いときなどに、ヒーターの入った車内にブレインユニットを持ち込みますと、ブレインユニットの内部に露が生じて正常に動作できない可能性があります。また故障の原因ともなりますので、このような環境下では、ブレインユニットをすぐにキャリングケースから取り出さずに、車内の温度に慣らしてから取り出してください。



# 故障かな?と思ったら

## 故障かなと思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。(『ナビゲーションブック』、『オーディオブック』の「故障かな?と思ったら」もご覧ください。)

## チェックしても直らないときは

本機をリセットしてください。  
「リセットについて」  
(P66)

## それでも直らないときは

「お客様登録とアフターサービス」(P77)をお読みになり修理を依頼してください。

## 共通項目

### 電源が入らない、動作しない

原因	処置
各リード線や各コネクタが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。『取付説明書』
ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。『取付説明書』
ノイズなどが原因で内蔵のマイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。 「リセットについて」(P66)
ブレインユニットカバーが開いている。	ブレインユニットカバーを閉じてください。 「準備をしましょう」(P32)

### リモコンで操作できない、操作に合った正しい動作をしない

原因	処置
電池の(+)と(-)の向きを逆に入れている。	正しく入れてください。 「準備をしましょう」(P29)
リモコンを、足元やシートに向けて操作している。	リモコン受光部に向けて操作してください。 「お使いになる前に」(P21)
リモコン受光部に直射日光が当たっている。	リモコン受光部に近づけて操作してください。 「お使いになる前に」(P21)
電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。 「準備をしましょう」(P29)

## エンジンスイッチをONまたはACCにすると、モーター音がする

原因	処置
本機がディスクの有無を確認している。	正常な動作です。

## 映像が出ない

原因	処置
パーキングブレーキコードが接続されていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。 『取付説明書』
パーキングブレーキをかけていない。	

## 音が出ない

原因	処置
接続が間違っている。	接続を確認してください。『取付説明書』
音量が0になっている。	音量を上げてください。 5.1ch DSPユニットとオーディオマスターユニットを組み合わせているときは、オーディオマスターユニットの音量を上げてください。

## 音が小さい

原因	処置
音量を下げている。	音量を上げてください。
アッテネーターがONになっている。	アッテネーターを解除してください。 『オーディオブック』

## 音や映像がとぶ

原因	処置
ナビゲーション本体がしっかり固定されていない。	ナビゲーション本体をしっかり固定してください。『取付説明書』

## ナビゲーション

## 自車位置を測位できない、測位誤差が大きい

原因	処置
簡易ハイブリッドシステムになっている。	簡易ハイブリッドシステムは3Dハイブリッドシステムに比べて測位精度が悪くなります。3Dハイブリッドシステムにするには、車速パルスを接続してください。
GPSアンテナの上に電波をさえぎる物を置いている。	GPSアンテナの上には何も置かないください。ワイパーなど、電波をさえぎる物があるときは、GPSアンテナの位置を変えてください。
GPS受信感度が低い。	GPSアンテナの感度を確認して、GPSアンテナの位置を変更してください。 車内に取り付けている場合は、必ず金属シートを使用してください。『取付説明書』
車速パルスが正しく入力されていない。	接続状態画面で、接続を確認してください。 『取付説明書』
ナビゲーション本体がしっかり固定されていない。	接続状態画面で取付位置の項目を確認してください。『取付説明書』

## DVD

## 再生できない

原因	処置
ディスクが汚れている。	汚れを拭き取ってください。 「ディスクの正しい使いかた」(P68)
本機で再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。 「ディスクの正しい使いかた」(P67)
PAL方式のディスクを挿入している。	NTSC方式のディスクに交換してください。
本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。

## CD、WMA/MP3

## 再生できない

原因	処置
ディスクが汚れている。	汚れを拭き取ってください。 「ディスクの正しい使いかた」(P68)
本機で再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。 「ディスクの正しい使いかた」(P67)

故障かな?と思ったら

付録

## ミュージックサーバー

## プレイリストが再生できない

原因	処置
ポーズ(一時停止)がONになっている。	ポーズをOFFにしてください。 『オーディオブック』

# 3Dハイブリッドセンサーのエラーメッセージ

初期学習が正しくできなかった場合は、画面に次のようなメッセージが表示されます。



このようなメッセージが表示されたときは、以下の内容を参照して対処してください。

## 走行開始後のエラーメッセージ

[ 車速パルスが接続されていません。簡易ハイブリッドで動作します。 ]

『取付説明書』を参照して、ピンクリード線(車速信号入力)を接続してください。正しく接続した後、「学習状態」のリセットを行い、3Dハイブリッドで初期学習をやり直します。

[ 3Dハイブリッドセンサーが正常に動作していません。本体の取付け角度や向きを確認後、決定を押してください。取付けが正常な場合は、販売店またはサービスステーションに御相談ください。 ]

『取付説明書』を参照して、ナビゲーション本体の取付け角度や向きが間違っていないか確認してください。取付けが正しい場合は、内蔵センサーの故障が考えられます。販売店またはサービスステーションにご相談ください。

[ 車速パルス信号が異常です。接続を確認してください。 ]

『取付説明書』を参照して、ピンクリード線(車速信号入力)の接続が間違っていないか確認してください。

## その他のエラーメッセージ

[内蔵のセンサーが異常です。販売店、またはサービスステーションに御相談ください。]

内蔵のセンサーの故障が考えられます。販売店またはサービスステーションにご相談ください。

[測位不能になりました。販売店、またはサービスステーションに御相談ください。]

ハードウェアの故障、劣化等が考えられます。販売店またはサービスステーションにご相談ください。

[GPSアンテナが接続されていません。接続を確認してください。]

[GPSアンテナが異常です。販売店またはサービスステーションに御相談ください。]

GPSアンテナの接続を確認してください。

正しく接続されている場合は、断線・故障・劣化等が考えられます。販売店またはサービスステーションにご相談ください。

[車速信号線が外れました。接続を確認してください。]

ピンクリード線(車速信号入力)の接続を確認してください。

[取付け位置の変化を検出しました。センサーの再学習を開始します。]

ナビゲーション本体の取付け位置の変化を自動で検出した事をお知らせするメッセージです。

# お客様登録とアフターサービス

## お客様登録 について

保証書発行兼お客様登録カードは、お買い上げ年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

この製品は、より確実にお客様をサポートさせていただくために「保証書発行兼お客様登録カード」の返送もしくはインターネット登録による、お客様の登録と保証書の発行を実施させていただいております。お手数ではございますが必ず登録手続きを行ってくださいますようお願いいたします。

## 登録方法

### ① 「保証書発行兼お客様登録カード」の返送によるご登録

同梱の「保証書発行兼お客様登録カード」に住所、お名前、電話番号および裏面のアンケートに必要事項をご記入のうえ、「保証書発行兼お客様登録カード③」を弊社まで返送してください。ご記入の住所、お名前に郵送いたしますので、正確に記入してください。

### ② インターネットによるご登録

弊社ご登録専用ホームページにアクセスし、住所、お名前、電話番号およびアンケートに必要事項をご記入のうえ送信してください。ご記入の住所、お名前に郵送いたしますので、正確に入力してください。  
なお、インターネット登録のお客様は修理の際に、郵送される保証書と「保証書発行兼お客様カード③」を一緒に提示していただきますので大切に保管願います。

### ご登録専用ホームページ

<https://www.3.pioneer.co.jp/members/navi/>

## 保証書発行 について

### 保証書のお届について

ご登録手続き完了後、保証書を郵送にてお届けいたします。  
保証書のお届けには3週間ほどかかります。  
ご登録いただけない場合は、保証書の発行ができません。

### 保証書お届けまでに故障が発生した場合

保証書発行兼お客様登録カードお客様控 は、お客様登録手続き中の証明となるものですので、保証書をお届けするまでの間、大切に保管してください。

### インターネット登録の場合

インターネット登録のお客様は登録後、郵送された保証書と「保証書発行兼お客様登録カード」をあわせてご提示いただきますので大切に保管してください。

### 保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

### 保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、次ページの当社無料修理規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

### 保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

### 補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です)

### ご質問・ご相談は

本機、または保証書発行兼お客様登録カードに関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

### お願い

より確実にお客様をサポートさせていただくために、万一、保証書がお手元に届かない場合や、ご転居、住所の変更等、ご登録内容に変更が生じましたら、お手数ですがパイオニアカスタマーサポートセンターへご連絡くださるようお願いいたします。

カスタマーサポートセンター

 0070-800-8181-11(フリーフォン)

TEL 03-5496-8016(一般電話)

なお、登録内容の変更はホームページからも行えますのであわせてご利用くださいますようお願いいたします。

ご登録専用ホームページ

<https://www3.pioneer.co.jp/members/navi/>

修理をご依頼になるときは、故障の原因をより早く確実に解決するため、製品一式をお持ち込みください。なお、サービス対応時におきましては、お客様が保存されたデータが消えることがあります。重要な内容は紙などに控えておいてください。

無料修理規定

1. 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
  2. 本取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意にしたがった使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはパイオニアサービスステーションが無料修理いたします。
  3. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には商品と保証書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店または別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」のパイオニアサービスステーションにご依頼ください。
  4. ご転居、ご贈答品等で保証書または保証書発行兼お客様登録カードに記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧のうえ、お近くのパイオニアサービスステーションへご相談ください。
  5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
    - 使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷。
    - お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。
    - 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛かり等による故障および損傷。
    - 業務用の長時間使用、船舶への搭載等、通常以外のご使用をされた場合の故障および損傷。
    - 消耗品(各部ゴム、電池等)の交換
    - 未登録のお客様で保証書発行兼お客様登録カードのご提示がない場合。
    - 保証書の文字を書きかえられた場合。
    - 保証書発行兼お客様登録カードにお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。
    - 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合。
  6. 保証書およびこの無料修理規定は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
  7. 保証書および保証書発行兼お客様登録カードは再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
- \* 保証書は、保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって保証書およびこの無料修理規定によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧のうえ、パイオニアカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
- \* 保証期間中に保証書を紛失した場合でもご登録いただいておりますと、確認に多少お時間をいただく場合がございますが、当社無料修理規定に基づき修理いたします。

## 仕様

## ナビゲーション本体

最大消費電流 : 3.0 A  
 使用電圧 : DC 14.4 V (10.8 ~  
 15.1 V使用可能)  
 アース方式 : マイナスアース方式

## GPS部

方式 : L1、C/AコードGPS  
 SPSスタンダード・  
 ポジショニング・  
 サービス  
 受信方式 : 12チャンネルマルチ  
 チャンネル受信方式  
 受信周波数 : 1,575.42 MHz  
 感度 : - 130 dbm  
 測位更新時間 : 約1回/1秒

## DVDプレーヤーメカ部

形式 : DVDビデオ、CDシステム  
 リージョンNo. : 2  
 対応ディスク : DVDビデオ、DVD-  
 R/RW ( video  
 mode )、CD-ROM、  
 CD-DA、CD-R/RW

信号フォーマット  
 サンプリング周波数  
 ( DVD値 ) : 48/96 kHz  
 ( CD値 ) : 44.1 kHz  
 量子化ビット  
 ( DVD値 ) : 16/20/24 bit直線  
 ( CD値 ) : 16ビット直線  
 映像出力レベル : 1 Vp-p/75 (白  
 100%出力)  
 音声出力レベル : 1 Vrms(1 kHz、0 dB)  
 周波数特性 ( DVD値 ) : 8 Hz ~ 22 kHz ( ± 1  
 dB )  
 ( CD値 ) : 20 Hz ~ 20 kHz  
 ( + 0.1 / - 0.4 dB )

S/N ( DVD値 ) : 97 dB ( 1 kHz ) ( IHF-  
 A ネットワーク )  
 ( CD値 ) : 96 dB ( 1 kHz )  
 ( IHF-A ネットワーク )

## ダイナミックレンジ

( DVD値 ) : 95 dB ( 1 kHz ) ( IEC-  
 A curve / 20 kHz  
 LPF )  
 ( CD値 ) : 94 dB ( 1 kHz )  
 ( IEC-A curve / 20  
 kHz LPF )  
 高調波歪率 : 0.008% ( 1 kHz )  
 チャンネル数 : 2 ( ステレオ )  
 MP3デコーディングフォーマット : MPEG-1&2 Audio  
 Layer-3  
 WMAデコーディングフォーマット : ver7&8

## GPSアンテナ

アンテナ : マイクロストリップ  
 平面アンテナ / 右円偏波  
 アンテナケーブル長 : 5.0 m

## リビングキット (家庭使用时)

最大消費電流 : 3.2 A  
 使用電源 : DC 12 V

## ACアダプター

電源 : AC 100 V 50/60 Hz  
 定格 : 81 VA  
 定格出力 : DC 12 V  
 電源ケーブル長 : 2 m + 2 m (間に  
 ACアダプター136  
 mm有り)

## 外形寸法

本体取付寸法	: 178(W) × 50 (H) × 161(D) mm
本体ノーズ寸法	: 170(W) × 46(H) × 30(D) mm
ブレインユニット	: 85(W) × 21(H) × 140(D) mm
リモコン	: 40(W) × 157 (H) × 30(D) mm
音声認識コントローラー	: 34(W) × 56(H) × 16(D) mm
GPSアンテナ	: 33(W) × 36(H) × 13(D) mm
リビングキット	: 180(W) × 204 (H) × 37(D) mm
リビングキット用リモコン	: 48(W) × 107 (H) × 10(D) mm
ACアダプター	: 68(W) × 136 (H) × 32(D) mm
ブレインユニット用キャリングケース	: 168(W) × 119 (H) × 42(D) mm

## 質量

本体	: 1.475 kg
ブレインユニット	: 332 g
リモコン	: 92 g (電池含む)
音声認識コントローラー	: 17 g (電池含む)
GPSアンテナ	: 105 g (ケーブル含む)
リビングキット	: 830 g
リビングキット用リモコン	: 36 g (電池含む)
ACアダプター	: 329 g (ケーブル含む)
ブレインユニット用キャリングケース	: 132 g

## 付属品

コード類	: 1式 1
リモコン	: 1
単4アルカリ乾電池(LR03)	: 2
音声認識コントローラー	: 1
リチウム電池(CR2032)	: 1
取付キット	: 1式
リビングキット	: 1
リビングキット用リモコン	: 1
リチウム電池(CR2025)	: 1
音声認識用マイク	: 1
スタートブック	: 1
ナビゲーションブック	: 1
オーディオブック	: 1
リビングキット取扱説明書	: 1
取付説明書	: 1
安全上のご注意	: 1
保証書発行兼 お客様登録カード	: 1
ご相談窓口・修理窓口 のご案内	: 1
VICSサービス契約約款	: 1

『取付説明書』の「接続・取り付け部品を確認する」に接続・取り付け部品の一覧表が記載されています。

## メモ

- 仕様および外観は予告なく変更することがあります。またこの説明書中のイラストと実物が、一部異なることがあります。
- 本機は日本国内専用です。GPSの測位範囲が異なる外国ではご使用いただけません。



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

スタートブック

AV/C-H900

パイオニア製品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店へお問い合わせください。なお、修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

#### ホームページ

商品に関する「よくあるお問い合わせ」FAQのご案内 <http://www.pioneer.co.jp/support/faq/index.html>

<下記窓口へのお問い合わせ時のご注意>

市外局番「0070」で始まる ☎ フリーフォン、および「0120」で始まる ☎ フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからはご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

### 製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

#### カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付 月曜～金曜 9:30～17:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

カーオーディオ/カーナビゲーション商品の

お問い合わせおよびカタログのご請求窓口 : ☎ **0070-800-8181-11**

: 【一般電話】 **03-5496-8016**

ファックス受付 :

**03-3490-5718**

### 部品のご購入についてのご相談窓口

部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入については、部品受注センターへお問い合わせください。

#### 部品受注センター

受付 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

電話 : ☎ **0120-5-81095**

: 【一般電話】 **0538-43-1161**

ファックス : ☎ **0120-5-81096**

### 修理についてのご相談窓口

お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合は、修理受付センターへ（沖縄の方は、沖縄サービスステーションへ）

#### 修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付 月曜～金曜 9:30～20:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

電話 : ☎ **0120-5-81028**

: 【一般電話】 **03-5496-2023**

ファックス : ☎ **0120-5-81029**

#### 沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話 : 【一般電話】 **098-879-1910**

ファックス : **098-879-1352**

## パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2004

< KKNFF > < 04E00000 > < CRA3637-A >